

第三地区	令和4年度	推進交付金:550,000 円
<b>取組み1 地域ケア会議の開催</b>  <b>第三地区まちづくり協議会</b>		推進交付金の活用
		有

(1) 目的

地区の高齢化、認知症の方の増加を受け、安心安全に暮らせる地区にするためには、誰もが気軽に集える場所が必要ではないかという課題に対して、第三地区で何ができるかを考えました。

(2) 取組み

- ア 城北地区の「カフェすいれん」の事例発表を傾聴
- イ 7グループに分かれて「誰もが気軽に集える場づくり～私たちができることは何か」と題してグループワークを行い意見を出し合いました。



(3) 今後の展開

- ア まちづくり協議会の中でさらに議論を深め、集える場づくりに向けて、住民と行政が協力して進めていきます。
- イ 地区内でも増えつつある「認知症」について学習し、地区の中に受け入れて、ともに生活していくことができるよう意識啓発を図ります。

## 取組み2 100歳体操表彰式

推進交付金の活用

第三地区まちづくり協議会

有

### (1) 目的

100歳体操の自主サークルが立ち上がってから5周年を迎えることから、参加者のモチベーションアップを図るとともに、新たな参加者を募集する機会とします。

### (2) 取り組み

ア 表彰式の前段として、20分に短縮した100歳体操を実際に体験していただき、新たな参加者の創生と100歳体操の普及に努めました。

イ 自主サークル立ち上げから5周年を迎え、「継続すること」への敬意を表すとともに、参加者のモチベーションアップのために、表彰状と記念品を授与しました。



### (3) 今後の展開

ア 地区内での新たなサークル立上げに向けて、周知・啓発活動を行います。

イ 体験会を企画し、100歳体操への参加者拡大を目指します。

<p><b>取組み3 まち歩き講座(清水中学校1年生と)</b></p> <p>第三地区まちづくり協議会</p>	<p>推進交付金の活用</p> <p>有</p>
<p>(1) 目的 まち歩きをとおしてまちの歴史・松本市の近代産業発展の歴史に対する理解を深め、地域に対する愛着をはぐくむこと</p> <p>(2) 取り組み ア 清水中学校1学年がクラス毎4グループに分かれ、講師1名とともに、解説を聞きながら1時間半かけて歩きました。 イ 各グループに地区住民も加わり、中学生とともにまちの中を歩き、歴史と時間を共有することができました。</p> <p>(3) 今後の展開 ア まち歩き用資料の充実</p> 	
<p><b>取組み4 まゆ玉づくり講習会</b></p> <p>第三地区まちづくり協議会</p>	<p>推進交付金の活用</p> <p>有</p>
<p>(1) 目的 地域の伝統行事である「三九郎」に参加するための「まゆ玉づくり」の技術を子どもと一緒に楽しみながら学びます。</p> <p>(2) 取り組み 毎年12月に公民館を会場として親子でまゆ玉をつくる講習会を実施</p> <p>(3) 今後の展開 青山様・ぼんぼんも含め、コロナ禍による中止が続き、伝統行事の継承が危ぶまれています。地区として、これらをいかに伝え守っていくかを考える必要があります。</p>	

